

# 音楽科学習指導案

1 日 時 平成 年 月 日 ( ) ~ 月 日 ( ) 全5時間

2 学年・組 第 学年 組 ( 名)

3 場 所 年 組教室

4 題 材 「音楽の会話を楽しもう」

5 題材の目標

歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」の曲の構造に気を付けて聴き、それらや即興的な表現を生かし問いと答えの音楽をつくる活動を通して、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。

6 本題材と学習指導要領のかかわり

- ・指導事項 A表現(3)音楽づくり ア・イ, B鑑賞(1)イ
- 〔共通事項〕 ア(ア)リズム・旋律 (イ)問いと答え・変化

7 題材設定の意図

(1) 題材について

本題材では、〔共通事項〕にある音楽を形づくっている要素を要とし、鑑賞と音楽づくりの関連を重視した学習を進める。具体的には、歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」を曲の構造に気を付けて聴いた後、日常生活の一場面における会話をもとに様々な発想をもって即興的に表現する学習を経て、音楽の仕組みを生かし思いや意図をもって音楽をつくる活動へ、その後、再度「パ・パ・パ…」を鑑賞し、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くという関連を図る。

第1時の鑑賞の活動では、「パ・パ・パ…」を聴き、聴き取ったことからどのように感じ取ったかを話し合う。その際、楽譜を見たり、実際に会話をするように男声と女声に分かれて歌ったりする活動を行う。そのことにより、二声が同じリズムでかけ合いをしていること、少しずつリズムが細くなることなど、問いと答えやリズムの変化などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さに気付くことができるようにしたい。

第2時から第4時の音楽づくりの活動では、鑑賞の活動で学んだ、音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かし、日常生活の一場面における会話をもとにした音楽をつくる。このうち、第2時では、学習指導要領、音楽づくりの指導事項アに相当する、音楽づくりの素地となる「即興的に表現する学習」を取り入れる。日常生活における会話の言葉を想像しながら、リズムや音の長さなどを変えて「パ・パ・パ…」と同じように擬音語で旋律をつくり、いろいろと試すことで、様々な音楽表現があることに気付くことができるようにする。そして、みんなで反復したり、友だちと音で会話したりすることで、音をつくる面白さや楽しさに気付くことができるようにしたい。第3時・第4時では、日常生活の一場面での出来事を想像して、擬音語で問いと答えの音楽をつくり、発表する。このとき、第2時における、即興的な表現で一人ひとりが工夫した音や音楽を活用しながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくることができるようにしたい。

第5時は、音楽づくりで培った力を生かし、再び鑑賞する活動を行う。十分に音楽づくりの経験をした後に聴くことで、はじめの鑑賞のときと比べ、二つの旋律の掛け合いやリズムの変化などをより聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さをより感じ取ることができるように考える。

このように、鑑賞と音楽づくりを関連付けて学習を進めることで、主体的・創造的に取り組む力の育成を目指したい。また、発達の段階に応じた学習の積み重ねが、音楽と生活との関わりに関心をもち、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことにつながるように考える。

(2) 題材の構造図

## 「音楽の会話を楽しもう」

題材の目標：歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」の曲の構造に気を付けて聴き、それらや即興的な表現を素  
かし問いと答えのある音楽をつくる活動を通して、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。(全5時間)

…題材を通して指導する, [共通事項] に示された音楽を形づくっている要素

### 会話の楽しさを感じ取って聴こう。

第1時

旋律

リズム

問いと答え

変化

◇鑑賞1H

<感じたこと>

- ・面白いね。
- ・楽しく会話しているみたい。
- ・相手に聞き返しているのかな。
- ・気分がのって早口でしゃべっているよう。

<気付いたこと>

- ・「パ」でしか歌っていないよ。
- ・男の人と女の人が掛け合いをしているよ。(問いと答え)
- ・同じリズムで歌っているね。
- ・だんだんリズムが細くなっているよ。(変化)

音楽で会話するのって楽しいね。

～鑑賞の活動で学んだことを生かして、  
音楽づくりの活動へ～

○即興的に表現する学習

### 音で会話して遊ぼう。

第2時

○音楽づくり1H

- ・二人組になって「パ」だけで会話してみよう。(問いと答え)
- ・日常生活(遊ぶ前, 給食中, 掃除時間など)の場面を想像して, 「キャッ」「モグモグ」「サッサッ」など, 擬音語で会話してみると(旋律・リズム)本当に会話しているみたいに聞こえるよ。

自分たちで音楽がつくることができそうだね。

●まとまりのある音楽をつくる学習

### 見つけた音を使って, 問いと答えの音楽をつくろう。

第3時

第4時

●音楽づくり2H

③二人組で問いと答えの音楽をつくる。 ④終わり方を考え, 音楽を発表する。

- ・日常生活のどんな場面かを想像しながら, 音で会話ができ面白いいね。(問いと答え)
- ・つくった旋律を交互に歌ってみよう。 ・リズムを細かくしてみよう。(変化)
- ・終わりは二人で音を重ねて終わろう。

問いと答えの仕組みを生かして, 音楽をつくることができたね。

～音楽づくりで培った力を生かして,  
再び鑑賞の活動へ～

### 音楽の会話を楽しんで聴こう。

第5時

◇鑑賞1H

- ・「パ・パ・パ…」の音だけで会話している様子が想像できたよ。
- ・二人が同じリズムで掛け合い(問いと答え)をしているのがはっきりと聞き取れるようになったよ。
- ・リズムに変化があり, もり上がっていく感じがして面白いいね。

はじめの鑑賞のときより, 音楽の会話の楽しさに気付くことができたよ。

8 教材について

歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」(二重唱) モーツァルト 作曲

「魔笛」第2幕第29場の、パパゲーノ(男声)とパパゲーナ(女声)による二重唱。パパゲーナに会えない悲しみのあまり死のうとしたパパゲーノのところに、三人の子どもがパパゲーナを連れてくる。パパゲーノは喜びのあまり言葉が続かず「パ・パ・パ…」と歌い出し、パパゲーナはそれに答えるようかけ合いが始まる。二声のかけ合いによってできる問いと答えの音楽、それにとともなうリズムの変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りやすい教材である。

9 題材の評価規準及び評価の視点

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
音楽入り	○	○	○	
鑑賞	○			○
題材の評価規準	曲想とその変化、音楽の仕組みに興味・関心をもち、鑑賞の学習や即興的に表現する学習に進んで取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音を音楽に構成していくことを工夫し、どのように音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。	音楽の仕組みを生かすなどの基礎的な技能を身に付けて、音を音楽に構成している。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、曲想とその変化を感じ取ったり、楽曲の構造に気を付けたり、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりして、味わって聴いている。
評価の視点	①楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ②鑑賞の活動で学んだ会話の表現に興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組もうとしている。	①鑑賞の活動で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、会話のできるいろいろな音楽表現を生かし、どのように掛け合いをするかについて発想をもっている。 ②鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、考えた言葉に合った表現を工夫し、どのように問いと答えの音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。	①鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくっている。	①旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。 ②鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、旋律・リズム・問いと答え・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いている。

10 指導と評価の計画（全5時間）

	○研究テーマにせまるための 主な学習活動	■ 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
第1次 1	<p>&lt;ねらい&gt; 歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」の楽曲の構造に気を付けて聴くことができるようにする。 (鑑賞：第1時)</p> <p>&lt;教材&gt; 歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」</p> <p>[共通事項] ア (ア) 旋律・リズム (イ) 問いと答え・変化</p>		
1	<p>○「パ・パ・パ…」を鑑賞し、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く。</p>	<p>*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、そのよさを感じ取ることができるようにする。</p>	<p>【アー①】 楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 (聴いている様子の観察・発言)</p> <p>【エー①】 旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・学習カード)</p>
第2次 3	<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の活動で学んだ会話の表現に興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組むとともに、会話のできるいろいろな音楽表現を生かし、どのように掛け合いをするかについて発想をもつことができるようにする。(即興的に表現する学習：第2時)</li> <li>鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだことを生かし、問いと答えの音楽をつくることができるようにする。(まとまりのある音楽をつくる学習：第3時、第4時)</li> </ul> <p>&lt;教材&gt; (参考教材) 歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」</p> <p>[共通事項] ア (ア) 旋律・リズム (イ) 問いと答え・変化</p>		
2	<p>○日常生活における会話を想像しながら、即興的に旋律をつくる。</p>	<p>*言葉に合わせて旋律やリズムを変え、友だちとの会話をいろいろと試すことにより、音や音楽をつくる面白さや楽しさに気付くことができるようにする。</p>	<p>【アー②】 鑑賞の活動で学んだ会話の表現に興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組もうとしている。 (つくっている様子の観察・発言・学習カード)</p> <p>【イー①】 鑑賞の活動で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、会話のできるいろいろな音楽表現を生かし、どのように掛け合いをするかについて発想を</p>

<p>3</p>	<p>○前時で見つけた音や音楽を生かしながら、擬音語で問いと答えの音楽をつくる。</p>	<p><b>*鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、二人組で問いと答えの音楽をつくることができるようにする。</b></p>	<p>もっている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カード)</p> <p><b>【イー②】</b> 鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、考えた言葉に合った表現を工夫し、どのように問いと答えの音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カード)</p>
<p>4</p>	<p>○終わり方を考え、問いと答えの音楽を発表する。</p>	<p><b>*鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かすことにより、音楽をつくることができるようにする。</b></p>	<p><b>【ウー①】</b> 鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくっている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・学習カード)</p>
<p>第3次 1</p>	<p>&lt;ねらい&gt; 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の特徴や演奏のよさに気づき、問いと答えの音楽を味わって聴くことができるようにする。(鑑賞：第5時)</p> <p>&lt;教材&gt; 歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」</p> <p>[共通事項] ア (ア) 旋律・リズム      (イ) 問いと答え・変化</p>		
<p>5</p>	<p>○もう一度「パ・パ・パ…」を聴き、かけ合いの音楽の楽しさを味わう。</p> <p>(学習カードの例) わたしは、はじめの鑑賞で、男の人と女の人が会話していることがわかったけれど、リズムはよくわかりませんでした。けれど、問いと答えの音楽をつくったことで、最後の鑑賞では同じリズムでかけ合いをしていることがはっきり聴き取れるようになりました。「パ」という短い音のリズムが面白く、会えたことを喜んでいる様子が想像できます。また、少しずつリズムが細かくなっているところが楽しそうでいいなと思いました。</p>	<p><b>*何回か曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である旋律・リズム・問いと答え・変化に気付くことができるようにする。</b></p> <p><b>*これまでの学習カードを参考にしながら、鑑賞して音楽をつくり、再び鑑賞したことにより、はじめの鑑賞から感じたことや気付いたことがどのように変わったのか、自らの身に付いた力を実感することができるようにする。</b></p>	<p><b>【エー②】</b> 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、旋律・リズム・問いと答え・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気づき、問いと答えの音楽を味わって聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・学習カード)</p>

1 1 本時の学習（1 / 5時）

- (1) 目標 ・ 楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組む。  
 ・ 旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴く。

(2) 展開

学習活動 「 」発問及び指示 ・ 子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 曲を聴いた感想を交流し，本時のめあての確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「パ」だけで音楽ができて面白いね。</li> <li>・楽しく会話しているみたい。</li> </ul>	<p>○オペラ「魔笛」の一場面で，パパゲーノ（男声）がパパゲーナ（女声）に会えた嬉しさで言葉にならない心情を表している場面であることを伝える。</p>	
<p>会話の楽しさを感じ取って聴こう。</p>		
<p>2 感じたことや気付いたことを交流する。</p> <p>「どのような感じがしましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に聞き返しているのかな。</li> <li>・気分がのって早口でしゃべっているみたい。</li> </ul> <p>「音楽のどこからそう感じましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「パ」でしか歌っていないよ。</li> <li>・男の人と女の人が同じ掛け合いをしているよ。（問いと答え）</li> <li>・同じリズムで歌っているね。</li> <li>・だんだんリズムが細かくなっているよ。（変化）</li> </ul>	<p>*感じたことを話し合い，音楽のどこからそう感じたのかをもう一度聴き返すことにより，音楽を形づくっている要素と関連させることができるようにする。</p> <p>○感じたことや気付いたことを，分けて板書する。</p> <p>○【共通事項】カード（音楽を形づくっている要素が書かれたカード）を提示する。</p> <p>*男声と女声に分かれて立つなどの活動を行うことにより，どのような掛け合いをしているのかに気付くことができるようにする。</p> <p>*楽譜を提示し，実際に歌ってみることにより，掛け合いの工夫に気付くことができるようにする。</p> <p><b>*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより，音楽を形づくっている要素である旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り，そのよさを感じ取ることができるようにする。</b></p>	<p>【アー①】</p> <p>楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。（聴いている様子の観察・発言）</p> <p>【エー①】</p> <p>旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。（発言・学習カード）</p>
<p>3 次時の予告をする。</p> <p>「パパゲーノとパパゲーナの会話を想像して歌ってみましょう。」</p> <p>「次時からは，会話の音楽をつくっていきましょう。」</p>	<p>*パパゲーノとパパゲーナがどのような会話をしているのかを付け足した楽譜を提示することにより，会話の音楽をつくる見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○学習したことを，学習カードに書く。</p> <p>*題材の流れを提示し，会話の音楽をつくること，その後再び鑑賞することを伝えることにより，これからの学習の見通しをもつことができるようにする。</p>	

(3) 評価活動の実際

【音楽への関心・意欲・態度】(1/5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ア-①】 楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・曲想とその変化を感じ取って聴くことができにくい子どもには、板書を見たり友だちの発言を参考にしたりするように助言する。	○質的に高まった状況 ・二声の掛け合いの工夫について集中して聴き、感じたことや気付いたことを積極的に発言している。
○具体的な評価方法 ・楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に進んで取り組んでいるかを、聴いている様子の観察・発言から見取る。	

【鑑賞の能力】(1/5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【エ-①】 旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・音楽を形づくっている要素を聴き取りにくい子どもには、〔共通事項〕カードの掲示を見て、どれにあてはまるか考えるように助言する。 ・学習カードに書くことができにくい子どもには、板書を参考にしたり、音楽を形づくっている要素を用いて書いたりするように助言する。	○質的に高まった状況 ・旋律・リズム・問いと答え・変化など、音楽を形づくっている要素に着目し、楽曲の構造を的確にとらえている。
○具体的な評価方法 ・音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いているかどうかを、発言・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画

<p>会話の楽しさを感じ取って聴こう。</p>			<p>題材の学習の流れ</p> <p>鑑賞      音楽                  づくり</p>
<p>歌劇「魔笛」から「パ・パ・パ…」 モーツァルト 作曲</p>	<p>挿絵</p>	<p>感じたこと</p>	
	<p>気付いたこと</p>		<p>かけ合い (問いと答え)</p>
<p>二声のかけ合い</p>			

(5) 活動の場 (教室)

<p>黒 板</p>
<p>机, いす</p>

1 1 本時の学習（2 / 5時）

- (1) 目標
- ・鑑賞の活動で学んだ会話の表現に興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組む。
  - ・鑑賞の活動で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、会話のできるいろいろな音楽表現を生かし、どのように掛け合いをするかについて発想をもつ。

(2) 展開

学習活動 「 」発問及び指示 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
1 本時のめあての確認をする。		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">音で会話して遊ぼう。</p> <p>2 即興的な表現を楽しむ。 『パ』だけを使って、音で会話してみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな旋律やリズムの作り方ができるね。</li> <li>・同じリズムを真似たり、違うリズムで答えたりすることができるね。</li> <li>・何か話しているように聴こえるよ。</li> </ul> <p>3 二人組になり、擬音語を使った会話を楽しむ。 『キャッ』『モグモグ』『サッサ』など、違う音を使って会話してみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしいって言っているのかな。</li> <li>・他の音で場面が想像できるね。</li> <li>・同じリズムで旋律を変えることもできるよ。</li> <li>・違うリズムで会話してみよう。</li> <li>・音の長さを変えらるともっと話しているみたいに聴こえるよ。</li> <li>・○○さんの見つけた音、面白いね。真似してみよう。</li> </ul> <p>4 次時の予告をする。 「次時は、会話した音を使って、問いと答えの音楽をつくりましょう。」</p>	<p>*「パ」だけを使って、指導者→子ども全員、指導者→子ども一人などのやりとりを何回かくり返すことにより、様々な旋律やリズムの作り方ができることに気付くようにする。</p> <p>○遊ぶ前、給食中、掃除時間など、いくつかの生活場面から一つを選択し、言葉に合った擬音語を考える（難しい場合は、「ラララ」や「ルルル」で考える）ように伝える。</p> <p>*教師の例示を見て、どのような会話をしているのかを想像することにより、活動の見通しをもつことができるようにする。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>*言葉に合わせて旋律やリズムを変え、友だちとの会話をいろいろと試すことにより、音や音楽をつくる面白さや楽しさに気付くことができるようにする。</p> </div> <p>*活動の途中で、子どもたちが見つけた、会話のできるいろいろな音楽表現（リズムを変える、音をのばすなど）を取り上げることで、表現の発想を広げることができるようにする。</p> <p>○教師が、子どもたちの見つけた音を図や言葉で表しておくことで、次時に生かすことができるようにする。</p>	<p>【アー②】 鑑賞の活動で学んだ会話の表現に興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組もうとしている。 (つくっている様子の観察・発言・学習カード)</p> <p>【イー①】 鑑賞の活動で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、会話のできるいろいろな音楽表現を生かし、どのように掛け合いをするかについて発想をもっている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カード)</p>

(3) 評価活動の実際

【音楽への関心・意欲・態度】(2/5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ア-②】 鑑賞の活動で学んだ会話の表現に興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組もうとしている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・様々な会話の表現の表し方に気付くことができにくい子どもには、指導者や友だちの表現を参考にしたり、友だちのつくった音を聴いて真似たりするように助言する。	○質的に高まった状況 ・旋律・リズムの変化などによって生み出されるよさや面白さを感じ取り、様々な音を出そうと積極的に試みている。 ・自分から進んで友だちに働きかけ、相手を意識して音を出そうとしている。
○具体的な評価方法 ・様々な会話の表現に興味・関心をもち、いろいろと試しながら進んで取り組んでいるかどうかを、つくっている様子の観察・発言・学習カードから見取る。	

【音楽表現の創意工夫】(2/5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【イ-①】 鑑賞の活動で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、会話のできるいろいろな音楽表現を生かし、どのように掛け合いをするかについて発想をもっている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・どのように掛け合いをするかについて発想をもつことができにくい子どもには、友だちの音を真似したり、「パ」だけを使って会話した旋律やリズムを参考につくったり、手拍子を打ってリズムや音の長さを確認したりするように助言する。	○質的に高まった状況 ・よりよい音楽にしようと、旋律やリズムをいろいろと変化させて発想を広げ、思いや工夫を深めて掛け合いの音楽をつくっている。
○具体的な評価方法 ・鑑賞の活動で学んだ、音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取りながら、どのように掛け合いをするかについて発想をもっているかどうかを、つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画

音で会話して遊ぼう。	
<生活場面例> ・遊ぶ前    ・給食中    ・掃除時間    など	例示
☆旋律を変える ☆リズムを変える ☆音の長さを変える ☆反復する  など	子どもたちが見つけた音

(5) 活動の場 (教室)

黒 板
机, いす

1 1 本時の学習 (3 / 5時)

- (1) 目標 鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、考えた言葉に合った表現を工夫し、どのように問いと答えの音楽をつくるかについて、思いや意図をもつ。
- (2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 前時の学習を想起する。 「前時にみんなが見つけた音を確認しましょう。」</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*前時の学習をまとめたものを提示することにより、学習の見通しをもつことができるようにする。</p>	
<p>見つけた音を使って、問いと答えの音楽をつくろう。</p>		
<p>3 問いと答えの音楽のつくり方について、全体で話し合う。 「問いと答えの音楽をつくるために、どのような工夫をしたらよいでしょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子をもう少しふくらませて会話を増やしてみよう。</li> <li>・前時に使った言葉をつないだり付け足したりして、音楽のつくり方を工夫しよう。</li> </ul>	<p>*問いと答えの音楽の例を提示することにより、音楽のつくり方に見通しをもつことができるようにする。</p> <p>*学習カードの書き方を確認することにより、次の活動がスムーズにできるようにする。</p>	<p>【イー②】</p> <p>鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、考えた言葉に合った表現を工夫し、どのように問いと答えの音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。</p>
<p>4 見つけた音を使って、二人組で問いと答えの音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉に合うように、音を高くして旋律を変えよう。</li> <li>・音の長さを変えると感じが変わるね。</li> <li>・リズムを細かくして、少し急いでいる感じにしよう。</li> </ul>	<p>*鑑賞や即興的に表現する学習で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、二人組で問いと答えの音楽をつくることができるようにする。</p> <p>*前時で見つけた音を使って、二人組で言葉に合うように旋律やリズムを変えたり、音の長さを変えたりすることにより、問いと答えのある音楽をつくることができるようにする。</p>	<p>(つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カード)</p>
<p>5 次時の予告をする。 「次時は、終わり方を考えて、発表しましょう。」</p>	<p>*どのような工夫をして問いと答えの音楽をつくったのかを学習カードに書き留めておくことにより、次時に生かすことができるようにする。</p>	

(3) 評価活動の実際

【音楽表現の創意工夫】(3 / 5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【イー②】 鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、旋律・リズム・問いと答え・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、考えた言葉に合った表現を工夫し、どのように問いと答えの音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・どのような工夫をすればよいか理解しにくい子どもには、友だちの真似をしたり、板書や友だちの意見を参考にしたりして音楽をつくるように声かけをすることで、言葉に合った表現を考えることができるようにする。	○質的に高まった状況 ・友だちの音をよく聴き、言葉に合った様々な方法を試しながら、全体の構成を意識し、表現の工夫を深めている。
○具体的な評価方法 ・言葉に合った表現を工夫しているか、音楽のつくり方について自分の思いや意図をもっているかどうかを、つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画

見つけた音を使って、問いと答えの音楽をつくろう。	
第2時で子どもたちが見つけた音	問いと答えの音楽例

(5) 活動の場(教室)

黒板
机, いす

1 1 本時の学習（4／5時）

- (1) 目標 鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくる。
- (2) 展開

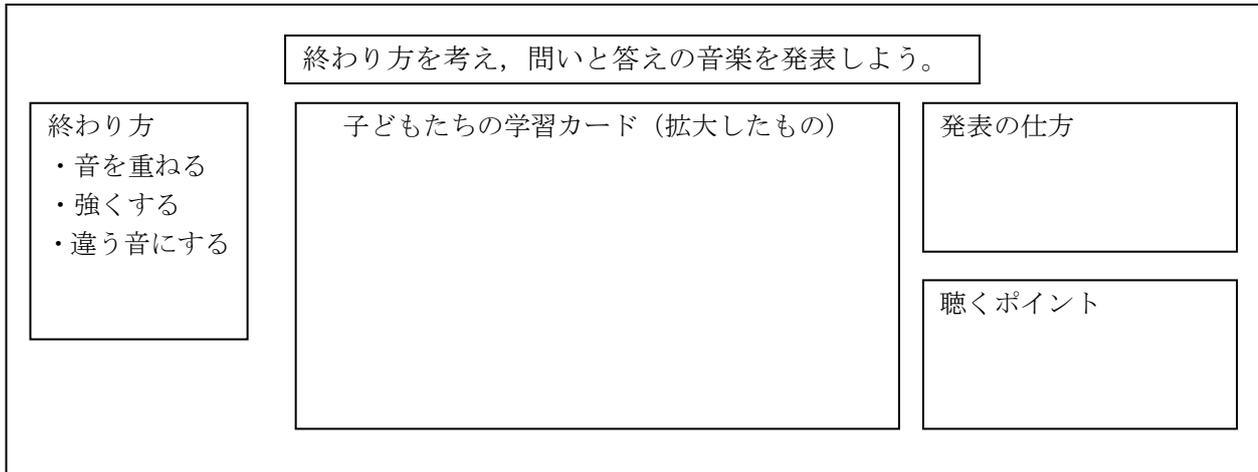
学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 本時のめあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>終わりを考え、問いと答えの音楽を発表しよう。</p> </div> <p>2 終わりの工夫について、全体で話し合う。 「終わる感じにするためには、終わりをどのようにしたらよいでしょう。」 ・二人で音を重ねているね。 ・二人で強く言って、元気に終わってもいいね。</p> <p>3 二人組になり、発表の練習をする。 「発表に向けて、最後の練習をしましょう。」 ・場面がわかるように、大きさに音を付けてみよう。 ・最後は二人で音を重ねてみよう。 ・違う音で終わってみよう。</p> <p>4 つくった音楽を全体で聴き合う。 「つくった音楽を聴き合いましょう。」 ・給食中、楽しく話していたらだんだん時間がなくなって急いでいる場面を想像して問いと答えの音楽をつくりました。聴いてください。 ・リズムがどんどん細かくなったから、急いでいる感じに聴こえたよ。</p> <p>5 次時の予告をする。 「次時は、もう一度『パ・パ・パ…』を聴き、音楽の会話を楽しみましょう。」</p>	<p>*「パ・パ・パ…」の終わりを確認することにより、どのような工夫ができるかを考えることができるようにする。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>*鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かすことにより、音楽をつくることのできるようにする。</p> </div> <p>○後で確かめられるように、発表を録画・録音しておく。 *場面を想像しながら、どのように工夫したのか、また、つくった音楽がどのような感じに聴こえたかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。</p> <p>○どのように工夫したのか、また、友だちの発表を聴いてどのようなことに気付いたのかなどについて、学習カードに書くようにする。</p>	<p>【ウー①】 鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくっている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・学習カード)</p>

(3) 評価活動の実際

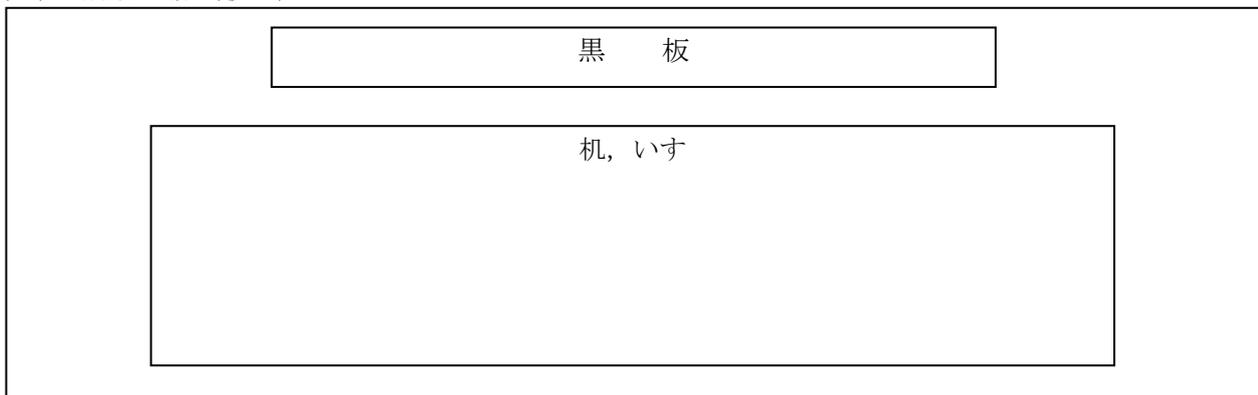
【音楽表現の技能】(4/5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ウー①】 鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくっている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かしてつくることができにくい子どもには、板書を参考にしたり、友だちの意見を聞いて真似したりして、音楽をつくるように助言する。	○質的に高まった状況 ・友だちの音をよく聴き、問いと答え・変化など、様々な方法を試しながら、まとまりのある音楽をつくっている。
○具体的な評価方法 ・問いと答え・変化などの音楽の仕組みを生かし、まとまりのある音楽として表現しているかどうかを、つくっている様子の観察・演奏の聴取・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画



(5) 活動の場 (教室)

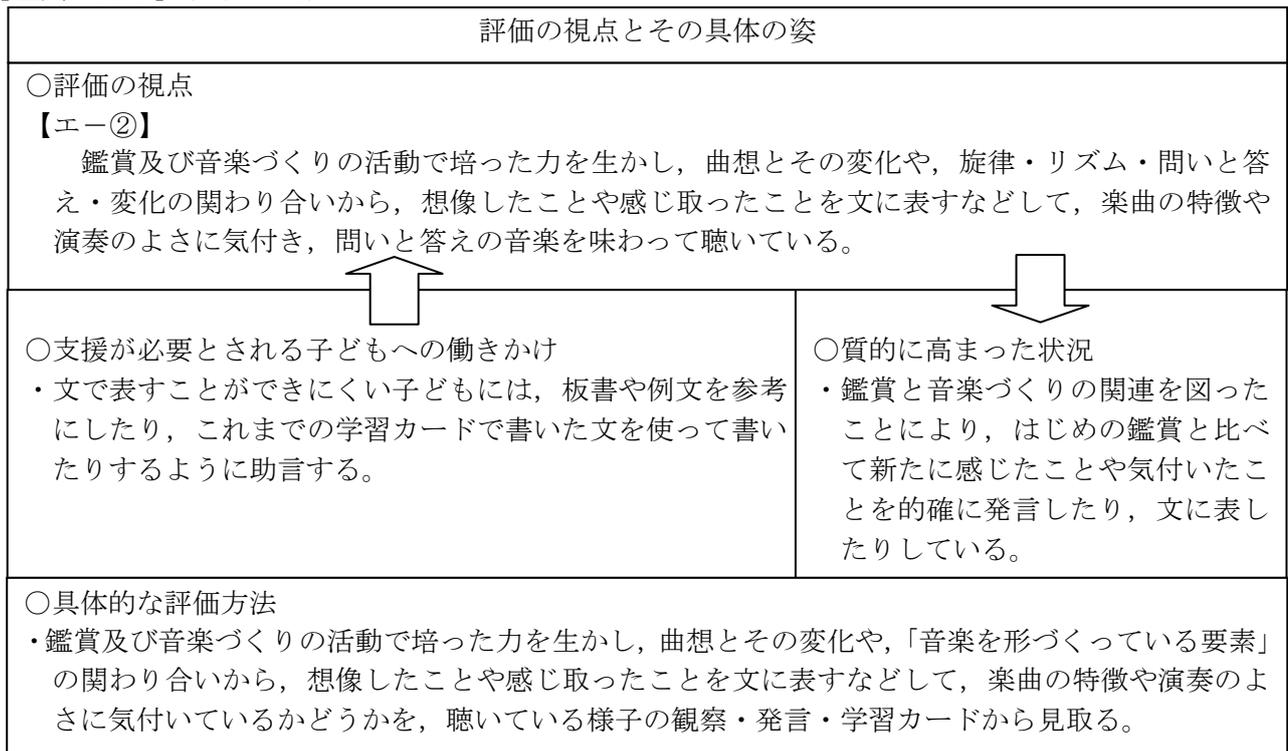


1 1 本時の学習（5 / 5時）

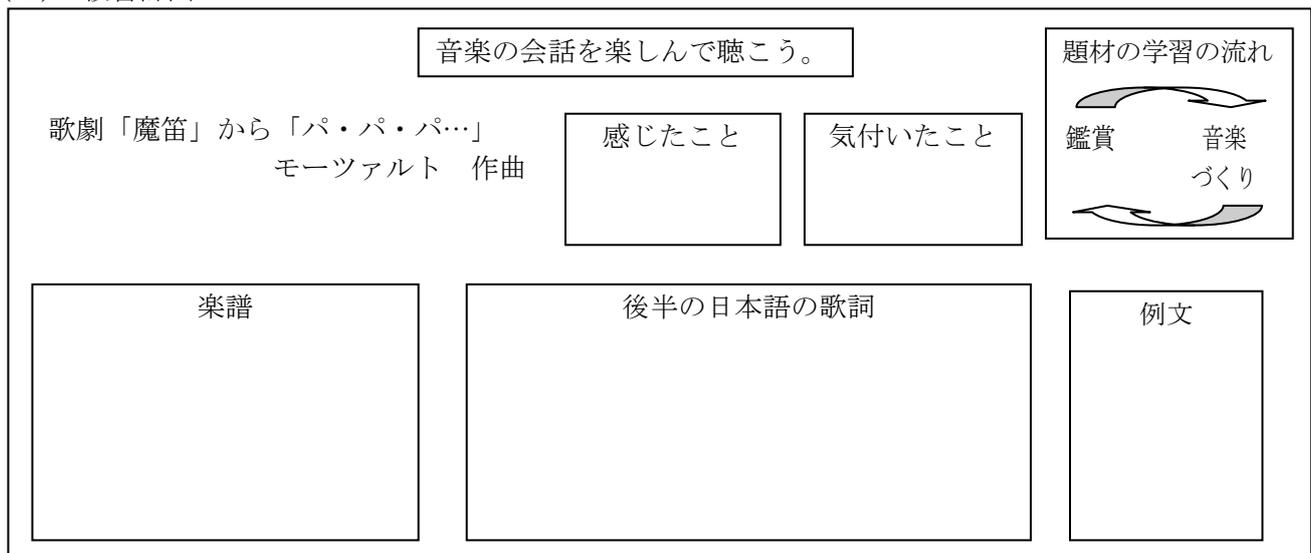
- (1) 目標 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、旋律・リズム・問いと答え・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気づき、問いと答えの音楽を味わって聴く。
- (2) 展開

学習活動 「 」発問 ・児童の反応	*支援 ○留意点 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 前時の学習を想起する。 「前時につくった、自分たちの音楽を視聴しましょう。」 ・問いと答えの音楽をつくることのできたね。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*前時に録画したものを視聴することにより、自分たちのつくった音楽を確かめることができるようにする。</p>	
<p>音楽の会話を楽しんで聴こう。</p>		
<p>3 もう一度「パ・パ・パ…」を聴き、感じたことや気付いたことを話し合う。 「もう一度聴いて、感じたことや気付いたことを話し合ひましょう。」 ・「パ・パ・パ…」の音だけで会話している様子が想像できたよ。 ・二人が同じリズムで掛け合いをしているのがはっきりと聴き取れるようになったよ。 ・リズムに変化があり、もり上がっていく感じがして面白いね。 ・掛け合いの中に、音が重なっている部分もあって面白いね。</p>	<p>*第1時で板書した「感じたこと」と「気付いたこと」に付け足すことにより、音楽づくりの活動を通して身に付いた力を実感することができるようにする。</p> <p>*後半の日本語の歌詞を提示することにより、出会えた喜びでもり上がっている場面であることや、音の重なり工夫に気付くことができるようにする。</p> <p>*演奏している映像を観ることにより、視覚的に曲のよさを聴き取り、感じ取ることができるようにする。</p> <p><b>*何回か曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である旋律・リズム・問いと答え・変化に気付くことができるようにする。</b></p>	
<p>4 学習を通して感じたことや気付いたことを書く。 「鑑賞して音楽をつくり、再び鑑賞したことで、感じたことや気付いたことを書きましょう。」</p>	<p>*例文を提示することにより、書き方の参考になるようにする。</p>	
<p>(学習カードの例)</p> <p>わたしは、はじめの鑑賞で、男の人と女の人が会話していることがわかったけれど、リズムはよくわかりませんでした。けれど、問いと答えの音楽をつくったことで、最後の鑑賞では同じリズムでかけ合いをしていることがはっきり聴き取れるようになりました。「パ」という短い音のリズムが面白く、会えたことを喜んでいる様子が想像できます。また、少しずつリズムが細かくなっているところが楽しそうでいいなと思いました。</p>	<p><b>*これまでの学習カードを参考にしながら、鑑賞して音楽をつくり、再び鑑賞したことにより、はじめの鑑賞から感じたことや気付いたことがどのように変わったのか、自らの身に付いた力を実感することができるようにする。</b></p>	<p>【エー②】</p> <p>鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、旋律・リズム・問いと答え・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気づき、問いと答えの音楽を味わって聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・学習カード)</p>

(3) 評価活動の実際  
【鑑賞の能力】(5 / 5時)



(4) 板書計画



(5) 活動の場 (教室)

